

解析結果可視化システム
操作マニュアル

GEO ソリューションズ

目次

1.起動方法	3
2.メニューの機能	4
2-1.レイヤの表示、非表示の切り替え	5
2-2.レイヤの透過度の変更	5
2-3.レイヤの固定	5
2-4.レイヤの削除	6
2-5.標高	6
3.日付・時間の変更	7
3-1.日付の変更	7
3-2.時間の変更	8
3-3.タイムスライダーで日付と時間の変更	8
3-4.コントローラーで日付と時間の変更	9
4.その他	10
4-1.画面キャプチャ	10
4-2.読込	10
5.表示の設定	11
5-1.ノードの設定	11
5-2.リンクの設定	12
5-3.ラベルの設定	13

1.起動方法

ブラウザから <http://160.16.145.65/dia/map/> にアクセスして起動します。

起動後は下記のような画面が表示されます。



2.メニューの機能

画面左上のメニューを操作することによってレイヤの表示を変更します。



2-1.レイヤの表示、非表示の切り替え



レイヤの表示・・・visible チェックボックスをチェック

レイヤの非表示・・・visible チェックボックスのチェックを外す

2-2.レイヤの透過度の変更



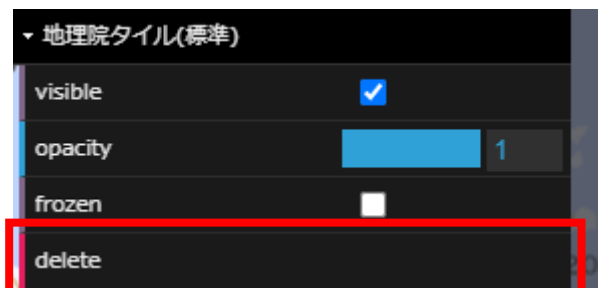
opacity スライダーを操作するか、またはスライダー横に数字を入力します。

2-3.レイヤの固定



frozen チェックボックスにチェックを入れると、そのレイヤが固定されます。

2-4. レイヤの削除



delete ボタンをクリックすると、そのレイヤが削除されます。

2-5. 標高

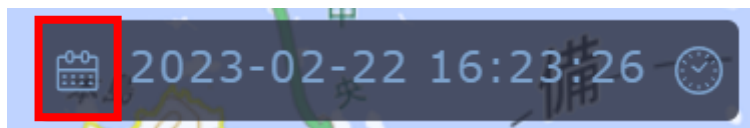
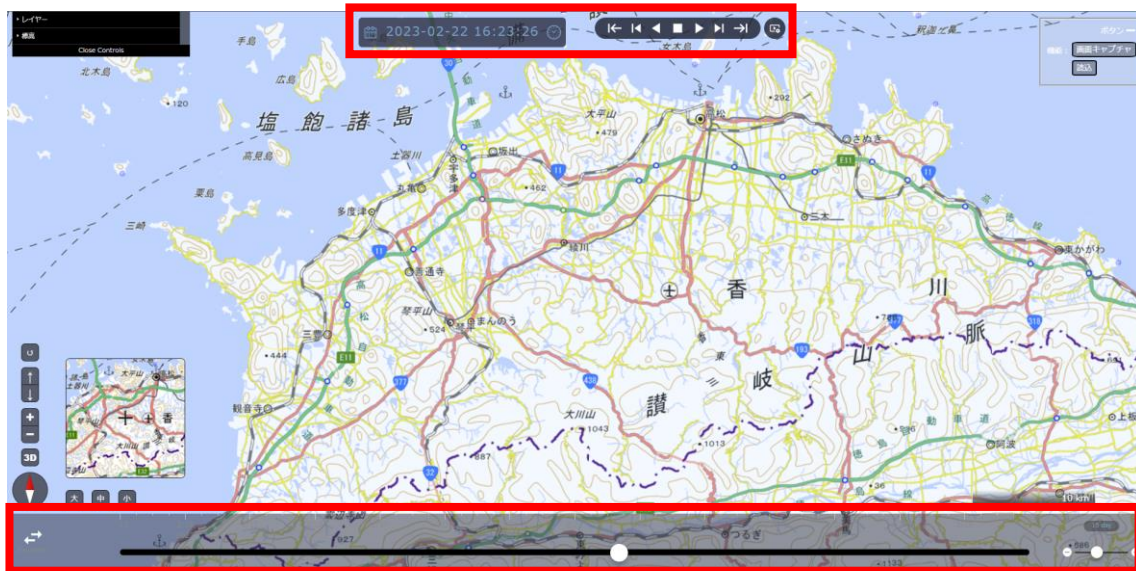


『標高』レイヤの『DEM』の scale スライダーを操作する、もしくは右の数値を入力すると標高の規模を変更できます。

3.日付・時間の変更

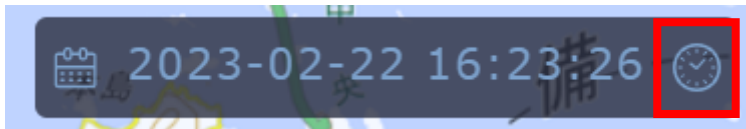
将来的に時系列データの表示を調整するために、表示時間を調整できます。

3-1.日付の変更



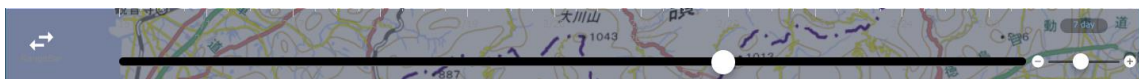
カレンダーアイコンをクリックすると、カレンダーが表示されるので、日付を変更できます。

3-2.時間の変更



時計アイコンをクリックすると、現在時刻に変更されます。

3-3.タイムスライダーで日付と時間の変更




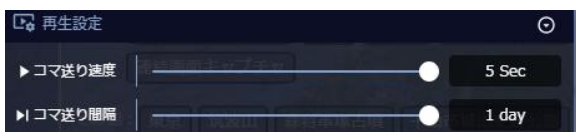
下のタイムスライダーのつまみをスライドさせることによって、日付と時間の両方を同時に変更することができます。

3-4.コントローラーで日付と時間の変更



画面上部のコントローラーを操作すると日付、時間を変更することができます。

右のボタン  をクリックすると、再生設定を変更できます。



コマ送り速度・・・○秒に一回コマ送りをする

コマ送り間隔・・・コマ送りする時間の間隔

4.その他



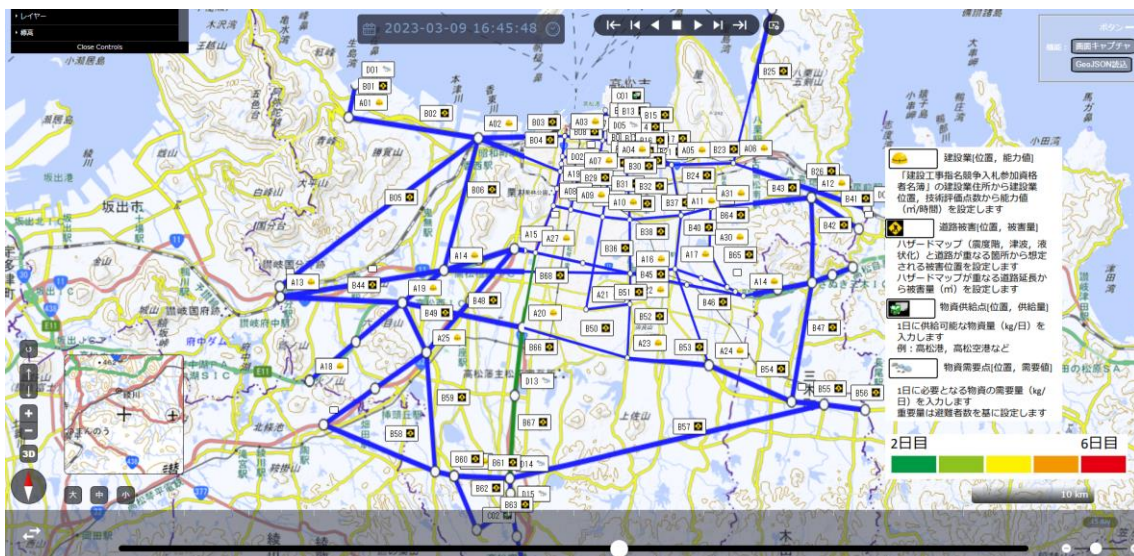
4-1.画面キャプチャ

『画面キャプチャ』ボタンをクリックすると、画面をJPEGファイルで保存します。ファイルはダウンロードフォルダに保存されます。

※画面キャプチャ機能は、セキュリティ上 http では動作しません。

4-2.読み込み

『読み込み』ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示され、GeoJSONファイルを読み込みこむことができます。読み込みに成功すると、地図に表示されます。また、GeoJSONファイルを地図上にドラッグ&ドロップすることでも、表示することが可能です。



5.表示の設定

5-1.ノードの設定

ノードの表示設定は、黒の枠線に白の塗りつぶしとなっております。ソースコード上では、下記のように記載されております。

```
point: {  
  color: 'white',  
  radius: 5,  
  line: "black"  
},
```

- ・「color」:ポイントの色を設定
- ・「radius」:ポイントの半径(ピクセル単位)を設定
- ・「line」:ポイントの枠の色を設定

5-2. リンクの設定

リンクの表示設定は、「end_date」属性を参照しています。

また色分けの設定は、

1~2：緑、3：黄緑、4：黄色、5：オレンジ、6以上：赤、null・undefined・0：青
ソースコード上では、下記のように記載されております。

```
// 色分け情報
let featuresColor = value[i].properties.end_date;

if(!featuresColor) {
  value[i].properties.style.stroke.color = "blue";
} else {
  if(featuresColor === 1 || featuresColor === 2) {
    value[i].properties.style.stroke.color = "green";
  } else if(featuresColor === 3) {
    value[i].properties.style.stroke.color = "lightgreen";
  } else if(featuresColor === 4) {
    value[i].properties.style.stroke.color = "yellow";
  } else if(featuresColor === 5) {
    value[i].properties.style.stroke.color = "orange";
  } else if(6 <= featuresColor) {
    value[i].properties.style.stroke.color = "red";
  }
}
}
```

5-3. ラベルの設定

リンクの表示設定は、「cd」属性を参照しています。

またラベル分けの設定は、

A: 、B: 、C: 、D: 

ソースコード上では、下記のように記載されております。

```
// アイコン分け情報
let which_wc = featuredata.features[s].geometries[i].properties.work_code;
if(!which_wc) {
    which_wc = featuredata.features[s].geometries[i].properties.worker_code;
}

if(which_wc) {
    let pick_cd = which_wc.slice(0, 1);

    switch (pick_cd) {
        case "A":
            featuredata.features[s].geometries[i].properties.style.icon.source = "./font/met.png";
            break;
        case "B": // 「B～」始まるラベルはリンク
            featuredata.features[s].geometries[i].properties.style.icon.source = "./font/kouji.png";
            // ラベルのみ表示する
            featuredata.features[s].geometries[i].properties.style.point = {};
            featuredata.features[s].geometries[i].properties.style.text.field = '{work_code}';
            break;
        case "C":
            featuredata.features[s].geometries[i].properties.style.icon.source = "./font/track.png";
```

```
        break;
    case "D":
        featuredata.features[s].geometries[i].properties.style.icon.source = "./font/rock.png";
        break;
    default:
        featuredata.features[s].geometries[i].properties.style.text.color = "#0000cd";
        break;
    }
} else {
    featuredata.features[s].geometries[i].properties.style.text = {};
}
```